

## 「カツオすきやき！」シール200枚を配布

### 「土佐のおさかなまつり」(高知市)

「豊かな海づくりフェスタ in こうち」の一環で、「土佐のおさかなまつり」が10月27、28日の両日、高知市の中央公園で開かれ、カツオ県民会議も情報発信分科会のメンバーらが参加。ステージ出演で会場を盛り上げたほか、カツオのペイントシールを配って活動を大いにアピールした。



オープニングイベントが行われた27日、カツオ県民会議をPRしてくれたのが、サニーグループよさこい踊り子隊「サニーズ」の面々。小学3年生から中学

3年生までの約 20 人が、鳴子を片手に可愛さいっぱいの歌とダンスを披露した。



カツオ県民会議の受田浩之副会長もマイクを握り、県民会議の紹介や、カツオにまつわるクイズコーナーで会場を沸かせた。

舞台にはキモカワキャラクターの「カツオ人間」も登場。後頭部がざっくり割れたユニークな姿に、子どもたちだけでなくお母さんたちも大喜びで、体に触ったり一緒に写真を撮ったりと大人気だった。

2日目の28日は、「さかなクン」のトークライブが開かれるとあって前日上回る人出だった。実は、まつりの総合司会を務めたのは、情報発信分科会メンバーでもある「土佐かつお」さん。トークライブの合間に「さかなクン」とツー

ショット写真のチャンスがあり、きっちり「カツオすきやき」のペイントシールをアピールしてもらった。



会場では、2 日間にわたってカツオ県民会議の専用ブースを設置。パンフレットを配って活動内容を紹介した。もちろん子どもたちの興味を引いたのはペイントシールで、ほっぺたや手

の甲に貼って大喜び。スタッフは少しでも簡単にシール貼ろうと、前もってシールに切り込みを入れる作業に大忙しだった。

そんな苦労もあって、2 日間で約 300 枚のシールと、パンフレット約 200 を配ることができた。分科会メンバーと一緒に手伝っていただいた高知銀行、四国銀行、土佐料理「司」、林釣漁具製作所、ANA 高知支店、「太陽」のみなさん、本当にありがとうございました。